

6/29(2) まいど! 倫理号です。 6/21(金)に退院してまいり、有難うござい  
まい。29年になり数々の苦難を与えられまいが多くの学びもまいり。でき

今週の

倫理

6月のテーマ | 苦難と向き合う

2024. 6. 29~7. 5

幸で逢ふ亦鳥

1392号

六月、度川柳一句「朝に夕、滲れる雲の 風を続む」 退院南迎

辞書で「苦難」と引くと「つらく困難な  
こと」や「苦しみ」といった意味が並び、  
お世辞にも良い印象を持てる言葉ではあり  
ません。

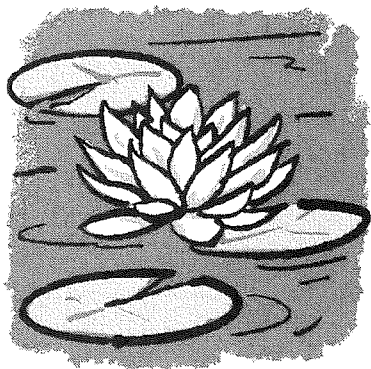
もちろん「苦難」に陥ることは、誰しも  
自ら望むものでなく、できるならば「苦難」  
と遭遇することがないようにと願うもので  
す。もし「苦難」に陥ってしまったなら、  
一日も早く逃れたいと思うのが普通でしょ  
う。しかし、少し視点を変えて、人生や仕  
事などにおいて苦難「あり」と「なし」の  
場合を比較すると、「あり」の方がその内容  
に、より深みが出るのではないだろうか。

偉人たちの人生が、すべて順風満帆であ  
ったとしたら、後世の人々が「尊敬する人  
物」として興味を持つことはなかったかも  
しれません。

例えば、戦国の乱世を平定した徳川家康  
にも負け戦が何度もあり、京や大阪と違い、  
当時は未開發だった江戸を領地とさせられ  
苦勞した一面があるからこそ、多くの文学  
作品の題材となり、偉人として語られるだ  
けの魅力があるといえるでしょう。

エジソンの発明がはじめから成功ばかり  
で、松下幸之助が裕福な幼少期を過ごして  
いたら、同じレベルの成功を収めていても  
魅力に乏しく感じたかもしれません。

架空の物語であつてもそれは同様で、小  
説や演劇、映画やアニメなども、そのスト  
ーリーに上手いかわかない場面があるからこ  
そ、それを乗り越えて成功をつかむ過程が、  
面白かったり感動したりするのではないで



## 苦難と向き合うからこそ 見えるものがある

でしょうか。優れた能力を持つ主人公であつ  
ても、最初から最後まで成功する姿しかな  
いのでは面白がありません。

このように、自分のこととなれば避けた  
い「苦難」も、自分を離れ、客観視すれば、  
深みを生み出す重要な要素になることがわ  
かります。であるならば、自分自身に降り  
かかる「苦難」も、演劇や映画を見るよう  
に、一歩引いた所から冷静に客観視できれ  
ば、ただ「つらい」とか「苦しい」という捉  
え方だけではなくなるはずです。

直面した苦しみに慌てふためき右往左往  
しては、自分のすべきことが分かりま  
せん。目の前に好転の機会が訪れても気づ  
かずに、せつかくの好機を取り逃してしま  
うことになるでしょう。

純粹倫理を学ぶと『万人幸福の葉』の第  
二条「苦難は幸福の門」という言葉に出合  
います。これは「苦難の後には幸福が来る」  
といった気休めを意味するものではありません。  
上手いかわかないことが起きるのは、必  
ずそうなる「原因」と「意味」があります。  
それを探り、真正面から向き合つて「原因」  
を改善し「意味」を分かち行動を起こす  
からこそ「幸福」に至るのだと示している  
のです。

一般的に「苦難」は嫌なものと思われ、  
避ける対象とされがちです。しかし、避け  
て目を逸らしては何も得ることができ  
ません。目を逸らさないからこそ、見えて  
くるもの、得るものがあると認識し、「苦難」  
に真正面から向き合いたいものです。